

第1分科会
子育てトークI
幼い子ども

助言者 (公立保育園 園長)
(公立保育園 園長)

司 会 清野 (公立保育園 保育士)
堀内 (公立保育園 保育士)

記 録 渋谷 (公立保育園 保護者)
稲富 (公立保育園 保護者)



参加者から

初めての参加で、思っていること、分からないことが聞けたらいい。

2回目の参加で2歳の子どもを私立に通わせている、公立園との違いについて聞きたい。

助言者から

第2保育園の園長をしている、話が広がるようにしていきたい。

子どもの、安心安全をどう守っていけばよいのかをお話できたらと思う。

公立と私立の違い

私立園

入所年齢に違いがあり、職員の数は公立より少ない。休日保育を実施している。

保育の中身は、リトミックや体操、親子遠足が多い。イベントは月一回。日曜日に運動会がある。6:00以降に保護者会をやる。

公立園

国基準より多くの職員の加配がある。

2歳児は5人に対して保育士1人、0歳は4人に対して1人。

障害児を受け入れるための環境の整備や職員の加配があり、目が行き届く。

6ヶ月から保育している、栄保育園は2ヶ月から受け入れできる。延長保育料の徴収がある。

新座の保育全体

40年の歴史がある。

各園の児童定数が定められているが、それを超えて受け入れている現状のなかでも待機児童は434人に上る。

乳児の待機児童数が多い（４，５歳が定員割れをしていて幼稚園に入園させる家庭が多い）

保育現場の今と昔

長時間保育がみられる、親たちの労働時間が長くなっているからか。

保育参観は、保育参加に変化しつつある。親と一緒に子どもと加わっていくと考えられてきているようだ。

参加者から

7時まで預けているが、長時間保育による子どもの負担はどんなのか不安。

現場の保育士から

個々に合わせて生活する難しさはあるが、保育所は集団生活の長所を生かしながら、親の労働を保障し、支援するところ。そして子どもの幸せを考える場である。

子どもを取り巻く環境

- 放射能測定、月1度（砂場、園庭）。
- 雨水で遊ばないように声かけをしている。
- 日焼けは皮膚がんの恐れにつながるので帽子をかぶっている。
- 今年はプールの時間も短めにした。
- ザリガニ釣りや、山登り、遠足で子どもたちの五感の発達が促され、運動機能や絵を描くなど上手になる。
- どのような子どもに育ててほしいか、年間カリキュラムをゴールとして目標を持って終わったら評価できるように。一日一日の積み重ねを大切にしている。

待機児童数：283人（公立：76人、私立：207人）

0歳：88人、1歳：105人、2歳：71人、3歳：15人、4歳：3人、5歳1人。

参加者から感想

○子どもの成長する速さに驚いている、保育者が期待する以上に伸びてくれる。

○～才だからできなくてはいけないという思いは持ちたくないが、実際現場に行くと、できなくてどうするのと思う。ジレンマがある。

○子どもと関わることで、よいことそうでないこと見て聞いて学ばせてもらっている。

○最近ほめることが減っているのでほめるようにしている。自信をつけて次にまたやろうとする力を育ててあげたい。

保育者、親、公立、私立、それぞれの立場で子どもの幸せを願う話し合いになりました。

申し合わせ事項

1. 感動し喜びを共感すること、友だちがいること、人とのかわりを大事にしていくことを大切にしていきたいと思います。

2. 環境が変わっても泥んこや虫さがしなどたいせつにしていきたいと思います。

市への要望事項

1. 潜在的な待機児数を把握し、待機児童問題解消のため新園の増設をしてください。

2. 震災を受け、災害時用の携帯電話を各園に市から支給してください。

3. 学童保育所併設の児童館を作ってください。